

広島市中区医師会 第 12 回医療安全・院内感染対策管理研修会記録

医療安全・院内感染対策研修会参加記録

[研修会実施日] 平成 25 年 10 月 21 日 (月)

[研修会場] 大手町平和ビル5F

[参加者]

[感想・意見など]

研修会報告 (サマリー)

1. 医療安全

「みんなで考える医療のリスクマネージメントー訴訟事例を題材にー」

医療従事者にとって、医療事故訴訟は大きな関心事の 1 つ。どのような事例が訴訟に至り、裁判所はどのような判断をしているのか、ということを紹介いただきながら、リスクマネージメントについて説明いただいた。

医療訴訟全体の動向は、件数 (民事) は平成 16 年の 1110 件をピークに減少傾向 (平成 24 年 793 件) で、病院側の敗訴率も平成 15 年の 44.3% をピークに減少傾向にあります (同 22.6%)。しかし、これはそのまま医事紛争の減少を意味するものではなく、訴訟以外の解決 (示談、和解など) が増えた可能性がありリスクマネージメントは引き続き重要です。

講演の中で紹介された訴訟事例は、どの病院・診療所でも起こり得るもの。具体的には、

- ① 薬剤が関係した訴訟事件：静岡地裁沼津支部 H13. 10. 3
- ② 診療ガイドラインが関係した訴訟事例：広島高裁 H24. 5. 24, 富山地裁 H13. 2. 28
- ③ 看護師が関係した訴訟事例：東京地裁 H14. 2. 20, 大阪地裁 H24. 3. 27

また、昨今話題になっているクレーム患者が関係した訴訟事例も紹介いただきました。

(大阪地裁 H8. 6. 28, 広島地裁 H21. 3. 4)。

訴訟事例は実際に起こったという点で、とても大きな意味があると思います。リスクマネージメントですが、過去起こった失敗を繰り返さないということが基本となります。今日の研修が、同じ失敗を繰り返さないためのヒントとなり、医療が萎縮することなく、きちんと注意を払うべき点は注意して、正しい医療を、自信を持って行うことが何よりも大切です。と述べられました。

2. 院内感染対策「標準的な感染予防策」

感染対策は、今や管理（control）に加えて予防（prevention）が求められる時代です。医療関連感染が起こることによって、患者の負担だけでなく施設にかかる負担の増大も招くこととなり、その発生を防ぐことは私たち医療従事者の責務ともいえます。本研修で感染対策の基盤となる「隔離予防策のためのCDCガイドライン2007」を中心に、「標準予防策」と「経路別予防策」に関する基本的な内容を学び感染対策の基本を振り返って、明日からの感染対策における行動変容を起こすきっかけになるよう講演いただきました。

伝達講習記録

伝達講習実施日 平成 年 月 日（ ）

[報告者]

[参加者]

[感想・意見など]